

地域再生計画（地方創生活水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山市	地域再生計画名	おかやま水と生活再生計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	岡山市下水道河川局長 桐野 眞二、岡山市環境局長 門田 和宏		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率	79.8% 563,321人	H26	80.9% 571,121人	H29	80.9% 572,658人	81.6% 576,321人	H31	○	公共下水道（御津中央処理区、建部処理区）は順調であるが、合併処理浄化槽設置整備事業は計画をやや下回る整備量（設置基数）であった。但し、交付金を活用して合併処理浄化槽を設置した住宅全体の居住人口は予測を上回っており、目標は概ね達成できる見込みである。
	指標 2	内水面への淡水魚放流数量（アユ、モロコ、フナ）	233,787尾	H26	245,787尾	H29	189,916尾	253,781尾	H31	△	放流する魚種毎の漁獲量や成長具合の影響もあり、年度毎にばらつきが見られるものの、現状では目標を下回る可能性がある。なお、放流数量は、放流重量と1尾あたりの平均重量より求めた数量である。
	指標 3	環境パートナーシップ事業に参加する市民割合	5.2% 36,787人	H26	5.4% 37,987人	H29	6.5% 45,617人	5.5% 38,787人	H31	○	各々の活動の継続的な実施や、各種啓発活動の成果もあって着実に成果をあげているところであり、目標を達成出来る見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道（御津中央処理区、建部処理区）	φ150～φ200 L=4,966m	φ150～φ200 L=3,284m	φ150～φ200 L=3,284m	事業の進捗は順調であるが、下水道の整備計画の見直しを行ったところ、交付金対象路線としていた箇所が交付金対象外となり、本市の単独事業として実施することとなった。整備目標の達成に向けて、引き続き事業の推進を図りたい。
	合併処理浄化槽設置整備事業	5,500基	2,709基	4,909基	当該事業は個人の申請による事業のため、消費税率や景気動向の影響もあって、中間年度の整備量から判断すると、最終実績では整備目標の達成がやや困難な状況となる可能性がある。従って、今後は広報誌への記事の掲載（複数回）やホームページの充実、市民及び業界団体に対する呼びかけ等を行い、整備目標の達成に向けて、更なる啓発に努めたい。
その他の事業	岡山市環境パートナーシップ事業	自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等の活動を支援			河川等の清掃、草刈りなどの「エコボランティア活動」や、事業所自らの活動から発生する環境負荷を継続して低減していかうとする「グリーンカンパニー活動」など様々な環境づくり活動を実践する市民や団体等の登録は増加傾向にある。引き続き、市民や事業者の自主的な環境保全活動を支援・推進していきたい。
	環境学習事業	水辺教室等の自然体験プログラムの開催			公民館、小学校、市民団体等と連携して自然体験プログラムを開催している。今後も継続して実施し、生物多様性や身近な水環境等に関する市民意識の向上を目指したい。
	岡山市身近な生きものの里事業	「岡山市身近な生きものの里」に認定された地域住民の保全活動に対する活動資材の提供などの支援			ホテルをはじめとした「身近な生きもの」をシンボルとした環境保全活動を、市民と協働で推進することを目的として、現在市内の16の地域を認定している。今後も地域住民の様々な保全活動に対する支援を継続していきたい。
計画外で独自に実施した事業	公共下水道	御津中央処理区・建部処理区以外の事業			他の交付金を活用し、毎年度80ha程度の整備を実施しており、着実に成果を上げている。引き続き事業の推進を図っていきたい。
	合併処理浄化槽への転換に対する上乗せ補助事業	単独処理浄化槽又は汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、補助金を上乗せして交付			平成28年度から、既存住宅で単独処理浄化槽又は汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、本市の一般財源により補助金を25%上乗せしている。上乗せ補助による転換の設置基数については一定の成果が表れているところである。

④評価方法 平成30年10月1日開催の第3回岡山市環境総合審議会に諮り、中間評価調書の内容について審議した。

⑤中間評価の公表方法 岡山市環境保全課のホームページに掲載予定。

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画では都市周辺部や農山村地域の社会基盤施設である公共下水道、合併処理浄化槽の一体的整備を行い、汚水処理人口普及率の向上による目標達成の見込みから、公共用水域の水質改善に一定の成果をもたらすものと考えている。また、各々の活動の継続的な実施や啓発活動の効果もあって、環境保全に対する市民意識啓発事業である「環境パートナーシップ事業」についても目標を達成し、更なる意識の高揚に繋がるものと考えている。一方、内水面への淡水魚放流数量は、魚種毎の漁獲量や成長具合の影響もあり、必ずしも水質改善に比例しない要因があるため、目標を下回る可能性がある。

⑦今後の方針等 本地域再生計画においては、概ね順調に事業が進んでおり、汚水処理人口普及率については、目標の達成が見込まれる。一方、合併処理浄化槽設置整備事業の整備量については、個人の申請による事業でもあるため、景気動向の影響もあり、整備目標の達成がやや困難な状況である。このため、広報誌への啓発記事掲載やホームページによる情報提供、市民及び業界団体に対する更なる啓発を継続して行い、目標の達成に向けて邁進していきたい。